

授業科目 看護コンサルテーション	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 前期
科目責任者	上泉和子	
担当者	上泉和子 Pamela Minarik (非常勤・Samuel Merritt University School of Nursing)	
1. 科目のねらい・目標 看護分野におけるコンサルテーションの概念、実践モデル、コンサルタントの役割、およびコンサルティングのプロセスについて学ぶ。また、高度実践看護師の行うコンサルテーションおよび管理的コンサルテーションの実践について学ぶ。		
2. 授業計画・内容 第 7 回、第 2 回 Introduction、Consultation models and roles、Consultation phases and process 第 3 回、第 4 回 Advanced nursing practice consultation models and process development by Barron & White 第 5 回、第 6 回 Discussion and Supervision 第 7 回、第 8 回 我が国の APN の制度と CNS、NP の役割 第 9 回、第 10 回 組織コンサルテーションの概要、組織コンサルテーションのプロセスと事例 第 11 回、第 12 回 組織コンサルテーションへの文化的影響 第 13 回、第 14 回 組織コンサルテーションの事例分析、 APN の行うコンサルテーションとスーパービジョン		
3. 教科書、参考書 ・ Gordon Lippitt and Ronald Lippitt(1986):The Consulting Process in Action,2nd.Ed.Pfeiffer. ・ パトリシア・アンダーウッド (1995) : コンサルテーションの概要ーコンサルタントの立場から、INR、18(5):5-12. ・ 上泉和子 (1995) : 看護組織へのコンサルテーションの実際、18(5):23-26. ・ エドガー・シャイン著、稲葉元吉他訳(1993) : 新しい人間管理と問題解決、産能大学出版部 . ・ E.H. シャイン著、稲葉元吉他訳 (2002) : プロセスコンサルテーションー援助関係を築くこと、白桃書房.		
4. 成績評価方法 1. プレゼンテーションの内容 (20%) 2. ディスカッションへの参加度 (10%) 3. レポート (70%)		
5. 受講要件		
6. 社会人学生に対する配慮		
7. その他		

